

平成 28 年度 全国学力・学習状況調査

大阪市の結果概要

大阪市教育委員会

調査の概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、大阪市教育振興基本計画に基づく教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年の全児童、中学校第3学年の全生徒

3 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

4 調査方式

悉皆調査

5 調査日時

平成 28 年 4 月 19 日（火）

6 調査を実施した学校・児童生徒数

・小学校 293 校、17,908 人・中学校 131 校、17,464 人

教科に関する調査結果の概要

- 平均正答率は、27 年度と比べ、小学校においては、国語・算数ともに、A問題で全国との差がやや縮小し、改善が見られます。B問題で全国との差がやや広がっています。中学校においては、数学A問題で全国との差がやや縮小し、改善が見られます。国語A・B問題、数学B問題で全国との差がやや広がっています。
- 平均無解答率は、27 年度と比べ、小学校においては、国語・算数ともに、A・B問題で概ね全国水準となっています。特に国語A問題で顕著な改善が見られます。中学校においては、国語・数学ともに、A問題で概ね全国水準となっていますが、B問題で全国との差が広がっています。

平均正答率《大阪市と全国》

※ 国語、算数・数学は、26, 27, 28 年度（悉皆調査）を取り上げています。

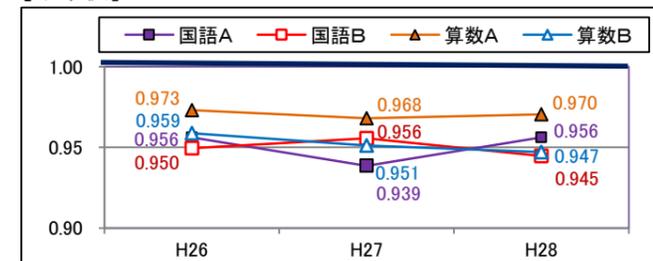
(%)

国語 算数・数学	H26			H27			H28			
	大阪市	全国	全国との差	大阪市	全国	全国との差	大阪市	全国	全国との差	
小国	A問題	69.7	72.9	-3.2	65.7	70.0	-4.3	69.7	72.9	-3.2
	B問題	52.7	55.5	-2.8	62.5	65.4	-2.9	54.6	57.8	-3.2
小算	A問題	76.0	78.1	-2.1	72.8	75.2	-2.4	75.3	77.6	-2.3
	B問題	55.8	58.2	-2.4	42.8	45.0	-2.2	44.7	47.2	-2.5
中国	A問題	75.9	79.4	-3.5	73.5	75.8	-2.3	72.5	75.6	-3.1
	B問題	46.3	51.0	-4.7	63.6	65.8	-2.2	62.1	66.5	-4.4
中数	A問題	62.5	67.4	-4.9	62.0	64.4	-2.4	60.0	62.2	-2.2
	B問題	55.2	59.8	-4.6	40.1	41.6	-1.5	41.7	44.1	-2.4

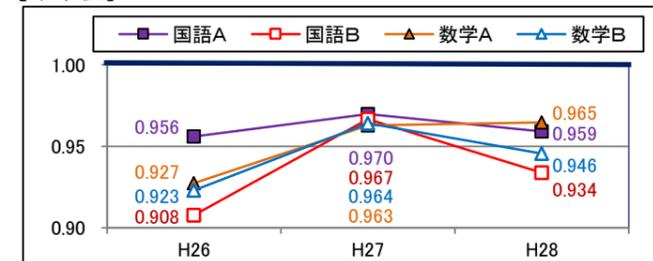
対全国比経年比較

※ グラフは、全国平均正答率を1としたときの大阪市の割合を表しています。

【小学校】



【中学校】



平均無解答率《大阪市と全国》

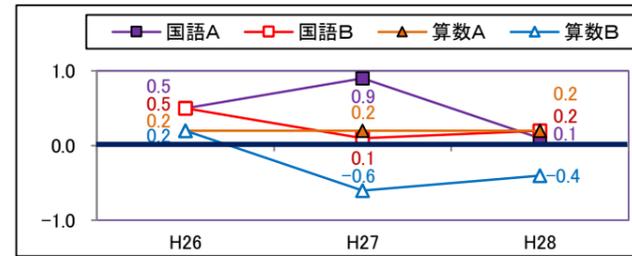
※ 国語、算数・数学は、26, 27, 28 年度（悉皆調査）を取り上げています。

(%)

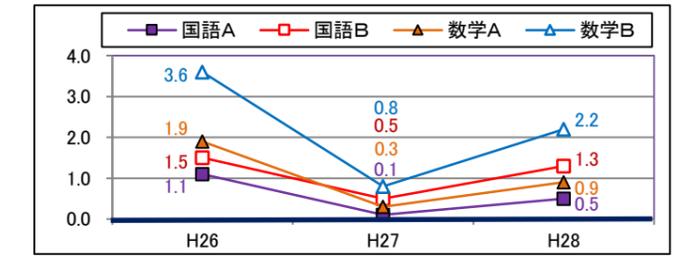
国語 算数・数学	H26			H27			H28			
	大阪市	全国	全国との差	大阪市	全国	全国との差	大阪市	全国	全国との差	
小国	A問題	2.8	2.3	0.5	4.5	3.6	0.9	5.4	5.3	0.1
	B問題	9.7	9.2	0.5	6.2	6.1	0.1	4.8	4.6	0.2
小算	A問題	1.1	0.9	0.2	2.0	1.8	0.2	2.0	1.8	0.2
	B問題	4.5	4.3	0.2	8.5	9.1	-0.6	7.0	7.4	-0.4
中国	A問題	4.2	3.1	1.1	2.7	2.6	0.1	2.5	2.0	0.5
	B問題	5.0	3.5	1.5	2.7	2.2	0.5	5.7	4.4	1.3
中数	A問題	6.2	4.3	1.9	4.0	3.7	0.3	7.2	6.3	0.9
	B問題	14.5	10.9	3.6	16.1	15.3	0.8	16.9	14.7	2.2

対全国差経年比較

【小学校】



【中学校】



各問題における正答数分布

大阪市の割合 (青い棒グラフ) / 全国平均 (青い折線)

